

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

二〇一九年度 普連土学園中学校入学試験

二〇一九年二月一日実施

一日午前四科 国語 解答用紙 一

問題一

問一 a

イ

b

オ

c

エ

d

カ

問二

ウ

問三

弟子が親方の仕事ぶりを見て自ら考え工夫を重ねるようになり、やがては仕事のおもしろさを実感するまでになるから。

問四

言葉で教えられた大工の技は、知識なので忘れられてしまうということ。

問五

自分の扱う

く

ようになる

こと。

問六 I

愛情

II

敬意

III

生きる

知恵

問七

自然は科学の力でねじ伏せることができる、という考え。

問八

不可能なことが存在することで、成り立っている点。

問九

自分の心の性質に応じて、試行錯誤を繰り返し主体的に

身につける。

問十

エ

問題二

問一 ㉑

イ

㉒

エ

問二

自分の進路変更について、母との対決を予想して緊張し、身構えたから。

問三

英文科ではなく、農学部を受験するということ。

問四

自分の考えではなく、母の夢を優先していたとき。

問五

オ

アにも配点があります。

座席番号	
受験番号	
氏名	

合計得点	
------	--

問六

ウ

オ

問七

父が仕事を言い訳に、山の問題から目を背けているということ。

問八

今まで喜樹以外は心にかけてくれないと思っていた山について、楓や正彦まで、実は真剣に考え、問題に取り組もうとしていてくれたと知り、ありがたく、うれしく思う気持ち。

問九

イ

問題三

① 備忘録

② 額

③ 窓際

④ 便乗

⑤ 険

⑥ ぎょうそう

⑦ さず

⑧ あまやど

⑨ かんけつせん

⑩ ひょうり

問題四

1 ① エ

② イ

③ ア

④ カ

⑤ オ

2 ① ウ

② カ

③ イ

④ オ

⑤ エ

問題五

① 1 りえき

2 ごりやく

② 1 こぶん

2 こもんじよ

③ 1 じんじ

2 ひとごと

④ 1 めんもく・めんぼく

2 まじめ

⑤ 1 さいらい

2 さらいねん